

佐渡×シエナ

《《ブラッスの祭典2022》》

佐渡裕指揮
シエナ・ウインド・オーケストラ演奏会

K.エマーソン&G.レイク

～吉松隆の管弦楽版に基づく吹奏楽アレンジ版(編曲:挟間美帆)

タルカス

佐渡×シエナの爆演が光る、

“プログレッシブ・ロック”の伝説的バンド

エマーソン・レイク&パーマーの最高傑作

丸ちゃんForever

2021年12月に逝去された

大阪府立淀川工科高校の名顧問・丸谷明夫先生を

佐渡×シエナおなじみのコーナー

『音楽のおもちゃ箱』で追悼します

ムソルグスキー

～ラヴェルの管弦楽版に基づく吹奏楽アレンジ版(新編曲:大橋晃一)

展覧会の絵

オーケストラの人気組曲を佐渡×シエナが遂に演奏

本公演のために制作された

吹奏楽版新編曲を初披露!

2022年11月17日(木) 19:00開演 [18:30開場]

富士市文化会館ロゼシアター
大ホール 富士市夢原町1750番地

WEB 8月25日(木)10:00～

窓口 8月26日(金)10:00～

料金(全席指定・税込) 1階席 ¥7,500 2階席 ¥6,500 学生(25歳以下) ¥3,000

※未就学児入場不可

※ロゼシアターWEB・窓口でお求めの際は「ロゼフレンドシップ」への登録が必要です。

チケットプレイガイド

- ◆ロゼシアターホームページ <http://rose-theatre.jp>
- ◆ロゼシアターチケット窓口(営業時間9:00～20:00)
- ◆ローソンチケット <http://l-tike.com> (Lコード:41327)
ローソン・ミニストップ店舗Loppi

お問合せ

ロゼシアター 0545-60-2500 (9:00～22:00)

※車椅子席はロゼシアターへお問い合わせください。

※来場時のマスク着用、咳エチケット、手指消毒をお願いします。

※公演終了後、臨時バスを運行します。ロゼシアター→新富士駅(220円)→富士駅(270円)

※ロゼシアター駐車場の収容台数には限りがあります。周辺店舗への駐車は大変迷惑となりますのでご注意ください。

※掲載内容を急ぎよ変更する場合がございます。最新情報はロゼシアターへお問い合わせください。

主催:公益財団法人富士市文化振興財団

後援:富士市・富士市教育委員会 富士宮市教育委員会 テレビ静岡 K-mix

制作:クリスタル・アーツ



すべての「壁」を超える、奇跡のコンサート! 富樫鉄火 (音楽ライター)

ウクライナの首都キエフ(キーウ)にある「黄金の門」は、キエフ大公国時代を象徴する史跡だ。現在のロシア文化のルーツでもある。この史跡を音楽にしたのが、ロシアのムソルグスキー。ピアノ組曲《**展覧会の絵**》の終曲〈キエフの大門〉は、往年のキエフ大公国を偲ぶ壮麗なオマージュだ。この組曲はフランスのラヴェルが管弦楽版に編曲して一躍有名になった。そしていま、日本で、大橋晃一による新たな吹奏楽版が登場した!

1971年、その《**展覧会の絵**》を、プログレッシブ・ロックにして大ヒットさせたグループがいる。イギリスの**エマーソン・レイク&パーマー**。実はこのアルバムには、露払い、のようなプロローグがあった。直前に発表された組曲《**タルカス**》だ。架空の怪物が大暴れする音楽物語で、ロック史に残る名曲である。これを、日本の作曲家、吉松隆が管弦楽版に編曲し、さらに、世界で活躍するジャズ作曲家の挟間美帆が吹奏楽版に編曲した。

いま、世界は混沌としている。だが、音楽の世界はどうだろう。たとえば、この日の佐渡裕&シエナは、ウクライナ、ロシア、フランス、イギリス、日本……クラシック、ジャズ、ロック、吹奏楽……国境もジャンルも超え、さまざまな音楽を平然と共存させている。彼らには「壁」なんて、ないのだ。

そういえば、若き日の佐渡裕が憧れた、大阪府立淀川工科高校吹奏楽部(淀工)の指揮者、**丸谷明夫**先生(2021年12月逝去)の一周忌追悼コーナーもある。音楽は、プロとアマチュアの壁さえも超えてしまうのだ。(敬称略)

佐渡裕指揮 シエナウインド・オーケストラ演奏会 《ブラスの祭典2022》 佐渡×シエナ



Photo by Hikaru ☆

佐渡裕 (指揮)

YUTAKA SADO, conductor

京都市立芸術大学卒業。故レナード・バーンスタイン、小澤征爾らに師事。1989年ブザンソン指揮者コンクール優勝。これまでパリ管弦楽団、ベルリン・ドイツ交響楽団、ケルンWDR交響楽団、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団など、欧州の一流オーケストラに多数客演を重ねている。現在はオーストリアで110年以上の歴史を持つトーンキュンストラ管弦楽団の音楽監督を務め、欧州の拠点をウィーンに置いて活動している。国内では兵庫県立芸術文化センター芸術監督、シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者を務めている。CDリリースは多数あり、大ヒット作の「ブラスの祭典」シリーズや、シエナと11年ぶりにセッション録音した最新版「バーンズ:交響曲第3番」(2022年6月発売、エイベックス)などがある。著書に「僕はいかにして指揮者になったのか」(新潮文庫)、「棒を振る人生〜指揮者は時間を彫刻する〜」(PHP文庫/新書)などがある。2022年4月より新日本フィルハーモニー交響楽団ミュージック・アドヴァイザーを務めており、23年4月には同楽団音楽監督に就任予定。

オフィシャルファンサイト <http://yutaka-sado.meetsfan.jp>

シエナ・ウインド・オーケストラ

SIENA WIND ORCHESTRA

1990年に結成されたプロのウインド・オーケストラ。現在、文京シビックホールを拠点とし、定期演奏会のほか全国各地で公演や青少年育成事業へ出演、アンサンブルユニットによる公演や吹奏楽クリニック等、年間100回を超える事業を展開している。2002年、首席指揮者に佐渡裕を迎え、毎年全国ツアーを展開する他、最近では飯森範親、原田慶太楼、宮川彬良など多彩な指揮者を客演に迎え、幅広いレパートリーを生かした活動を繰り広げている。2017年には挟間美帆をコンポーザー・イン・レジデンスに迎え、吹奏楽作品の普及にも積極的に取り組んでいる。2010年から東京都文京区との事業提携を皮切りに、各地の大学や自治体との提携を増やしており、地域や教育機関と密着した活動を積極的に展開している。CD・DVDも多数収録しており、最近ではエイベックスから「佐渡×シエナ バーンズ:交響曲第3番」や「原田慶太楼&シエナ Wind Orchestra THE CUTTING-EDGE 2022」「セイクレッド・スペース〜ジョン・マッキー作品集」「ブラスの祭典BEST」、スクウェア・エニックスから「ファイナルファンタジーVII×ブラバン!!!」、ユニヴァーサルミュージックから「ブラバン・デイズニー!〜シエナ・スタイル〜」等をリリースし、いずれも大きな話題を呼んでいる。

公式HP <https://sienawind.com>

YUTAKA SADO & SIENA WIND ORCHESTRA 佐渡裕指揮 NOW ON SALE シエナ・ウインド・オーケストラ



タルカス

タルカス(キース・エマーソン&グレッグ・レイク)
——吉松隆の管弦楽編に基づく吹奏楽版【編曲:挟間美帆】
二つの交響的断章(V.ネリベル)
トッカータとフーガ ニ短調(J.S.バッハ)【編曲:森田一浩】

【ライブ録音】2012年2月12日 文京シビックホール
【SACDハイブリッド】AVCL-25763 定価:¥3,300(税抜¥3,000)



バーンズ:交響曲第3番

ジェイムズ・バーンズ:交響曲第3番 作品89
【録音】2021年10月 長岡市立劇場(セッション録音)
【CD】AVCL-84131 定価:¥2,640(税抜¥2,400)

最新盤

avex classics